



## 研究プロジェクト名

環境・医療分野の国際研究開発・実証プロジェクト／アジアにおける先進的な資源循環システム国際研究開発・実証

※当該プロジェクトへの追加を検討している研究開発項目①-3「廃油の環境調和型再利用システム」について記載。

## 研究目的

### ○背景

- ・アジアの新興国では、都市部を中心とした自動車普及や工業進出がめざましく、それに伴って、エンジンオイルを始めとする潤滑油の需要が伸びている。
- ・これらの国々では、潤滑油を始めとする鉱物系の廃油について、必ずしも適正な処理が行われず、深刻な環境汚染を引き起こしているケースがみられる。

### ○目的

- ・環境調和型の廃油再利用技術を現地に導入することで、対象国、ひいては世界規模での環境負荷低減に寄与する。
- ・対象国の市場拡大に先んじて我が国のプレイヤーによる現地での操業の基盤を構築し、我が国のリサイクル産業、特に、国内の廃油リサイクルを担う中小企業の海外展開を促進する。

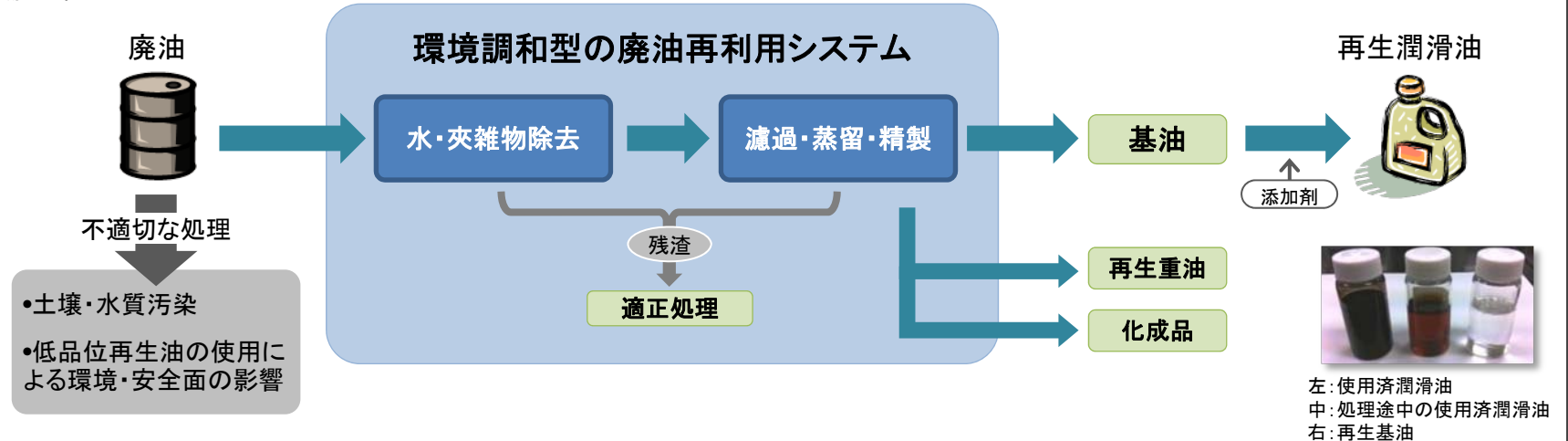
## プロジェクトの規模

### ○事業費と研究開発期間(目安として)

- ①事業費総額4.0億円(未定) ②研究期間2年

## その他関連図表

実施内容のイメージ図



## 研究内容概略

### ○研究開発課題(目的達成のための技術課題)

廃油の高品位再生技術や、そこから生じる残渣の適正処理技術等を組み合わせた、環境調和型の廃油再利用システムを開発、現地に導入し、実証を行う。

○想定対象国：アジアの新興国(インド含む)

○対象となる市場の例：十分な廃油量が見込まれ、かつ、不適切な処理により環境問題が発生している地域

## 研究開発の目標

### ○最終目標

潤滑油等の廃油を対象として、低環境負荷及び安全性を確保しつつ、現地のニーズに合致したリサイクル技術を確立し、高品位な再生油の生産と残渣等の適正処理を含めた環境調和型のリサイクルシステムを開発、実証する。